

私は弘前に生活してその体験をブログで発信するつもりでした。それを5年以上も続けているうちに、生活体験と発信の関係が逆転してしまいました。最初の頃は生活体験を発信することでした。ところが、それが毎日の発信ということになると、そのために、弘前で生活体験を求めるようになってしまっています。ブログを書くために、弘

前のまちを歩くということが多くなっているのです。だから、この2冊の本が必要になりました。私の生活の一部に組み込んでいます。学ぶ本、楽しむ本もあれば、この2冊の本のように私の生活体験の発信をサポートしている本もあります。私のブログ発信の生活習慣はこれからも続けます。その座右の銘こそこの2冊なのです。

(ひまき みつぐ)

檜先生が紹介された、「津軽ひろさきおべさま年表、津軽ひろさき検定」は本館で所蔵しています。

所 在: 本館2階開架書架 他

請求記号: 212.2/Ts36

図書館に関する話題 第10回

国際社会関係に関する図書について

人文学部教授 カーペンター ヴィクター リー

「先生、図書館の国際関係論の棚が空っぽです。スカスカになった棚に、何冊かの本が立たずに寝てしまっています…。利用できる本がまったくありません。今、見に行ってください。」

ゼミ生から、そう言われて、図書館本館 2F、国際政治学などが開架配置されている本棚の前に立った。目の前の棚には、2、3冊の本が転がっているだけだった。

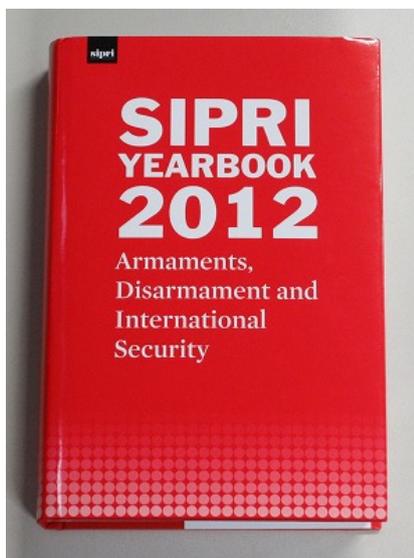
特に期末試験前の時期になると、この傾向はますますひどくなり、受講生から口々に「図書がすべて借り出されていて、参考文献として読もうと思ったときに借りることができない」という声が聞かれた。試験問題が事前に示されると、それに関連する図書が、その講義の後すぐに棚からすべて姿を消す…。「都市伝説」のような話だが、脚色なしの事実であった。ある受講生からは、「国際関係論図書館資料充実についてのお願い」が担当教員に対して文書で出されたほどだった。これは今から8年前、2004年のことである。

2001年から、本学でも、私と新任の同僚教員によって、国際政治学・国際協力論・国際平和論な

どの国際関係系科目が充実して開講されるようになった。開講前の下調べで、弘前大学附属図書館本館では、国際政治・国際関係論分野を研究する上で必須の基礎的文献・理論書が十分には所蔵されていないことが判明した。かつ、時事的な国際問題を扱う最新の専門書も満足に網羅されているとは言い難い状況であった。インターネット環境が今ほど整備されていない当時、受講者数が多い、21世紀教育科目「政治学の基礎」、人文学部専門科目「国際政治A・B」「国際協力論A・B・C」の国際関係論科目の関係図書はヘビーローテーションを余儀なくされた。

そのような声が出る前から、われわれ担当教員も、機会を見つけては研究費を使って図書館に国際関係論専門書を開架配置してきた。また、人文学部学部長の理解を得て、裁量経費の中から毎年、少しずつ、テーマを厳密に検討し作成したリストに基づき必須文献を揃える努力を続けてきた。それでも、まだ、はじめの学生の声のように、十分とは言い難い。

この度、弘前大学附属図書館文系図書整備5か年計画の最終年にあたり、学生の要望・利用頻度の高い国際関係分野の図書を補充したいとの有難い要請を頂戴した。そこで、学生たちの関心の高い分野を中心に選定をした。「戦争」「平和」「安全保障」「貧困」「開発」「地域主義・地域研究」「グローバル化」といった普遍性の高いトピックのみならず、東日本大震災以降、次々と出版されている震災復興やボランティア、原発・放射能問題に関する図書、アジア・アメリカ・欧州・中東政治など特定の地域を対象とした研究書を揃えることができた。ゼミ生らもこのプロジェクトに関わってくれ、学生側からの要望もリストに反映することができた。彼らはそのプロセスで「公費を扱うことの難しさ」も学んでくれたと思う。



「SIPRI Year Book 2012 年版」

今回の配架図書の中で出色は、スウェーデン・ストックホルム国際平和研究所発行の『SIPRI Year Book』である。この年鑑は、軍備や軍縮に関する世界的統計や報告を発表するもので、CiNii（NII 論文情報ナビゲータ）で検索するとわかるように、多くの大学図書館で継続配架されている。公費支出の原則として、高価な原語の専門書や、新書のような安価で本来自費で買うべき本は、今回のリストからできる限り排除した。しかし、国際政治・国際関係論を研究する上で重要な資料となるこの年鑑だけは、別格扱いをさせてもらった。このシリーズが並んでいることで、図書館書架の品格が上がることは間違いない。しかし、本は「使われてなんぼ」であろう。英語を嫌わず、是非、活用して欲しい。

何より、胸を張りたいのは、今回の整備事業で、国際政治・国際関係論系図書を納める書架の景色が一変したことである。一度、書架の前に立ち、この美しい景色を眺めて欲しい。Amazon でどんな国際関係論系書籍も手に入る今だからこそ、身体性をもって、「知の森」に遊んで欲しい。目的の本の隣に、思いもかけない素晴らしい本が待っているかもしれないのだから。

（カーペンター ヴィクター リー）

国際社会関係図書については、今年度中に約550冊購入し、本館2階開架図書の所定場所に配架します。

Library News

「阿仁鉱山関係絵図」デジタル版公開

附属図書館では、10月2日より、貴重資料に指定されている「阿仁鉱山関係絵図」のデジタル版（5枚）を附属図書館のホームページ内で公開しました。昨年の「津軽領元禄国絵図写」に続き2件目の公開となります。

阿仁鉱山関係絵図は、昭和40年、旧文理学部改組の際に、交付された機関研究の経費によって購入され、購入されたものです。なお、当該資料については、図書館報「豊泉」第34号5頁に詳細な説明があります。